



「かぐや」が撮影した地球

暗黒と静寂が無限に広がる宇宙の中に、小さな青い粒のような星がたった一つ浮かんでいる。この光景を眺めていると、時空を超えた会話がかすかに聞こえてきた。

「あのちっぽけな中で、なにをそんなに・・・」
翁の住む故郷のことを想って、姫が呟やくと。

「かの星人たちは吾唯足知をわきまえています。
なにも・・・」と、オビ-ワン・ケノービが静かにこたえていた。